

I 年間の諸行事・諸活動

2004(平成16年)度 学年暦 社会学部 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 木		1 土	創立記念日代替休日	1 火		1 木		1 日	ボランティア講座	1 水	前学期成績発表 ※仮卒業判定
2 金	第40回入学式 教員説明会	2 日		2 水		2 金		2 月	前学期集中授業	2 木	前学期集中授業(予備期間)
3 土		3 月	憲法記念日	3 木		3 土	七夕祭り	3 火		3 金	
4 日		4 火	国民の休日	4 金		4 日		4 水		4 土	保育セミナー
5 月	新入生セミナー 履修相談	5 水	子どもの日	5 土		5 月		5 木		5 日	
6 火		6 木		6 日		6 火		6 金	第29回発達臨床研修セミナー	6 月	前学期集中授業(予備期間)
7 水	学生厚生新入生オリエンテーション(福祉・編入)	7 金	降誕会(1・2時限休講)	7 月	保育実習(前半組)	7 水		7 土	(前学期集中授業予備日)	7 火	
8 木	科目等履修生選考	8 土		8 火		8 木		8 日		8 水	
9 金	学生厚生新入生オリエンテーション(社会・心理)	9 日		9 水		9 金	孟蘭盆会(3・4時限休講)	9 月	追試験期間	9 木	
10 土		10 月	履修登録確認	10 木		10 土	社会福祉研究所公開講座	10 火		10 金	
11 日		11 火		11 金		11 日		11 水		11 土	前学期授業終了
12 月	発達臨床研究センター臨床開始 履修相談	12 水		12 土		12 月		12 木	事務局一斉休暇	12 日	
13 火		13 木		13 日	オープンキャンパス	13 火		13 金		13 月	再試験期間
14 水	前学期授業開始 学生定期健康診断 履修登録締切	14 金		14 月		14 水		14 土		14 火	
15 木		15 土		15 火		15 木	カリフォルニア大学夏季語学研修(8/3まで)	15 日		15 水	
16 金		16 日		16 水		16 金		16 月		16 木	
17 土		17 月		17 木		17 土		17 火	天津大学夏季語学研修(9/14まで)	17 金	後学期授業開始
18 日		18 火		18 金	保育実習(後半組)	18 日		18 水		18 土	
19 月		19 水		19 土	建学式・教職員特別研修会	19 月	海の日	19 日		19 月	
20 火	学生胸部X線撮影	20 木		20 日		20 火	前学期補講	20 金		20 月	敬老の日
21 水		21 金	卒論・演習・卒リポート仮題目届締	21 月		21 水	予備日	21 土		21 火	
22 木		22 土		22 火		22 木	前学期試験	22 日		22 水	
23 金	創立記念日(平常授業)	23 日		23 水		23 金		23 月		23 木	秋分の日
	3・4年次生前期科目履修登録締切										
24 土		24 月	教育実習Ⅰ 大学入試説明会	24 木		24 土	(定期試験予備日) 淑徳大学フェア(長野)	24 火		24 金	
25 日		25 火		25 金		25 日	オープンキャンパス	25 水	オープンキャンパス	25 土	
26 月	1・2年次生前期科目履修登録締切	26 水		26 土	就職ガイダンス(福島県) 淑徳大学社会学部	26 月		26 木	オープンキャンパス	26 日	
27 火		27 木		27 日		27 火		27 金		27 月	
28 水		28 金		28 月		28 水		28 土		28 火	3・4年次生後学期科目履修登録締切
29 木	みどりの日	29 土	スポーツ大会 指定校入試説明会	29 火		29 木	ブラジル派遣研修(9/11まで)	29 日		29 水	1・2年次生後学期科目履修登録締切
30 金		30 日		30 水		30 金	前学期集中授業	30 月		30 木	
		31 月	教育実習Ⅱ			31 土	就職ガイダンス 1年次生「資格とキャリアイメージ」	31 火			

2004(平成16年)度 学年暦 社会学部〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	金	1	月	1	水	1	土	1	火	1	火
2	土	2	火	2	木	2	日	2	水	2	水
3	日	3	水	3	金	3	月	3	木	3	木
4	月	4	木	4	土	4	火	4	金	4	金
5	火	5	金	5	日	5	水	5	土	5	土
6	水	6	土	6	月	6	木	6	日	6	日
7	木	7	日	7	火	7	金	7	月	7	月
8	金	8	月	8	水	8	土	8	火	8	火
9	土	9	火	9	木	9	日	9	水	9	水
10	日	10	水	10	金	10	月	10	木	10	木
11	月	11	木	11	土	11	火	11	金	11	金
12	火	12	金	12	日	12	水	12	土	12	土
13	水	13	土	13	月	13	木	13	日	13	日
14	木	14	日	14	火	14	金	14	月	14	月
15	金	15	月	15	水	15	土	15	火	15	火
16	土	16	火	16	木	16	日	16	水	16	水
17	日	17	水	17	金	17	月	17	木	17	木
18	月	18	木	18	土	18	火	18	金	18	金
19	火	19	金	19	日	19	水	19	土	19	土
20	水	20	土	20	月	20	木	20	日	20	日
21	木	21	日	21	火	21	金	21	月	21	月
22	金	22	月	22	水	22	土	22	火	22	火
23	土	23	火	23	木	23	日	23	水	23	水
24	日	24	水	24	金	24	月	24	木	24	木
25	月	25	木	25	土	25	火	25	金	25	金
26	火	26	金	26	日	26	水	26	土	26	土
27	水	27	土	27	月	27	木	27	日	27	日
28	木	28	日	28	火	28	金	28	月	28	月
29	金	29	月	29	水	29	土	29	火	29	火
30	土	30	火	30	木	30	日	30	水	30	水
31	日			31	金	31	月			31	木

2004(平成16年)度 学年暦 大学院 社会学研究科 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	木	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水
2	金	2	日	2	水	2	金	2	月	2	木
3	土	3	月	3	木	3	土	3	火	3	金
4	日	4	火	4	金	4	日	4	水	4	土
5	月	5	水	5	土	5	月	5	木	5	日
6	火	6	木	6	日	6	火	6	金	6	月
7	水	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火
8	木	8	土	8	火	8	木	8	日	8	水
9	金	9	日	9	水	9	金	9	月	9	木
10	土	10	月	10	木	10	土	10	火	10	金
11	日	11	火	11	金	11	日	11	水	11	土
12	月	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日
13	火	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月
14	水	14	金	14	月	14	水	14	土	14	火
15	木	15	土	15	火	15	木	15	日	15	水
16	金	16	日	16	水	16	金	16	月	16	木
17	土	17	月	17	木	17	土	17	火	17	金
18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土
19	月	19	水	19	土	19	月	19	木	19	日
20	火	20	木	20	日	20	火	20	金	20	月
21	水	21	金	21	月	21	水	21	土	21	火
22	木	22	土	22	火	22	木	22	日	22	水
23	金	23	日	23	水	23	金	23	月	23	木
24	土	24	月	24	木	24	土	24	火	24	金
25	日	25	火	25	金	25	日	25	水	25	土
26	月	26	水	26	土	26	月	26	木	26	日
27	火	27	木	27	日	27	火	27	金	27	月
28	水	28	金	28	月	28	水	28	土	28	火
29	木	29	土	29	火	29	木	29	日	29	水
30	金	30	日	30	水	30	金	30	月	30	木
		31	月			31	土	31	日		

2004(平成16年)度 学年暦 大学院 社会学研究科〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月			
1	金	後学期授業開始 修士論文題目変更届締切(社会福祉学専攻)	1	月	龍澤祭片付け(午前休講)	1	水	1	土	元日	1	火	
2	土	編入学試験	2	火		2	木	2	日		2	水	
3	日		3	水	文化の日	3	金	3	月		3	木	
4	月		4	木		4	土	4	火		4	金	
5	火		5	金		5	日	5	水		5	土	
6	水		6	土		6	月	6	木		6	日	
7	木		7	日		7	火	7	金	授業開始	7	月	
8	金		8	月		8	水	8	土		8	火	
9	土	入学試験	9	火		9	木	9	日		9	水	
10	日	↓	10	水		10	金	10	月	成人の日	10	木	
11	月	体育の日	11	木		11	土	11	火		11	金	
12	火		12	金		12	日	12	水		12	土	
13	水	前期課程(2年次生)修士論文発表会(社会学専攻)	13	土		13	月	13	木		13	日	
14	木	(財)大学基準協会実地視察	14	日		14	火	14	月	大学入試センター試験準備(午後休講)	14	月	
15	金		15	月		15	水	15	土	大学入試センター試験(休講)	15	火	
16	土		16	火		16	木	16	日	大学入試センター試験(休講)	16	水	
17	日		17	水		17	金	17	月		17	木	
18	月		18	木		18	土	18	火	授業修了	18	金	
19	火		19	金		19	日	19	水		19	土	
20	水		20	土		20	月	20	木		20	日	
21	木		21	日		21	火	21	金		21	月	
22	金		22	月	修士論文題目変更届受付(社会学・心理学専攻)	22	水	22	土		22	火	
23	土		23	火	勤労感謝の日	23	木	23	日	天皇誕生日	23	水	
24	日		24	水		24	金	24	月		24	木	
25	月		25	木		25	土	25	火		25	金	
26	火		26	金	修士論文題目変更届締切(社会学・心理学専攻)	26	日	26	水		26	土	
27	水		27	土		27	月	27	木		27	日	
28	木		28	日		28	火	28	金	補講・集中講義開始	28	月	
29	金	龍澤祭準備(午後休講)	29	月		29	水	29	土			29	火
30	土	龍澤祭	30	火		30	木	30	日			30	水
31	日	善財童子開眼法要				31	金	31	月	修士論文提出締切		31	木

2004(平成16年)度 学年暦 国際コミュニケーション学部 [前学期]

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	木 第9回入学式・全教員会	1	土	1	火	1	木	1	日	1	水
2	金 新入生オリエンテーション	2	日	2	水	2	金 孟蘭盆会(午前休講)	2	月 集中講義	2	木
3	土	3	月 憲法記念日	3	木	3	土	3	火 集中講義	3	金
4	日	4	火 国民の休日	4	金	4	日	4	水 集中講義	4	土
5	月 新入生・編入生オリエンテーション 新入生・編入生健康診断	5	水 子どもの日	5	土	5	月	5	木 追試験	5	日
6	火 フレッシュマンキャンプ 4年生オリエンテーション・健康診断	6	木	6	日	6	火 試験問題提出	6	金 追試験	6	月
7	水 フレッシュマンキャンプ 2・3年生オリエンテーション・健康診断	7	金	7	月	7	水	7	土	7	火
8	木 フレッシュマンキャンプ	8	土	8	火	8	木	8	日	8	水
9	金 前期授業開始	9	日	9	水	9	金 定期試験時間割発表	9	月	9	木 再試験願書締切
10	土	10	月	10	木	10	土 オープンキャンパス	10	火	10	金
11	日	11	火	11	金	11	日	11	水	11	土
12	月	12	水	12	土	12	月	12	木	12	日
13	火	13	木	13	日	13	火	13	金	13	月 再試験日程発表
14	水	14	金 降誕会(午後休講)	14	月	14	水	14	土	14	火 後期履修登録日 全教員会
15	木 履修登録締切	15	土 スポーツ大会	15	火	15	木	15	日	15	水 再試験
16	金	16	日	16	水	16	金 前期授業終了	16	月	16	木 再試験
17	土	17	月	17	木	17	土 補講	17	火	17	金 後期授業開始
18	日	18	火	18	金	18	日	18	水	18	土
19	月	19	水	19	土 建学式・教職員特別研修会	19	月 海の日	19	木	19	日
20	火	20	木	20	日	20	火 補講	20	金	20	月 敬老の日
21	水	21	金	21	月	21	水 補講	21	土	21	火
22	木	22	土	22	火	22	木 補講	22	日	22	水
23	金 創立記念日(平常授業)	23	日	23	水	23	金 定期試験	23	月	23	木 秋分の日
24	土	24	月	24	木 前期試験計画票提出	24	土 淑徳大学フェア(長野)	24	火	24	金
25	日	25	火 サマーナイトフェスタ	25	金 オープンキャンパス	25	日 オープンキャンパス	25	水	25	土
26	月 留学生歓迎会	26	水	26	土 オープンキャンパス	26	月 定期試験	26	木	26	日 オープンキャンパス
27	火	27	木	27	日	27	火 定期試験	27	金 成績発表(送付)	27	月
28	水	28	金	28	月	28	水 定期試験	28	土 オープンキャンパス	28	火
29	木 みどりの日	29	土	29	火	29	木 定期試験	29	日 オープンキャンパス	29	水
30	金 創立記念日(振替休日)	30	日	30	水	30	金 集中講義	30	月	30	木
		31				31	土	31	火		

2004(平成16年)度 学年暦 国際コミュニケーション学部〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 金	学園傘下・編入学入試・休講	1 月	淑徳祭片付け・平常授業	1 水		1 土	元日	1 火	追試験日程発表	1 火	再試験
2 土		2 火		2 木		2 日		2 水		2 水	リーダーズキャンプ
3 日		3 水	文化の日	3 金		3 月		3 木	追試験	3 木	リーダーズキャンプ
4 月		4 木		4 土		4 火		4 金	追試験・A方式入試	4 金	
5 火		5 金		5 日		5 水		5 土	A方式入試	5 土	C方式入試
6 水		6 土		6 月		6 木		6 日	A方式入試	6 日	
7 木		7 日		7 火	成道会(午前休講)	7 金	授業開始	7 月	卒業年次生成績報告締切	7 月	
8 金		8 月		8 水		8 土		8 火	ジョブフェア	8 火	
9 土		9 火		9 木	サイレントナイトコンサート	9 日		9 水		9 水	
10 日		10 水		10 金		10 月	成人の日	10 木		10 木	成績発表(送付)1~3年
11 月	体育の日	11 木		11 土	指定校推薦・一般公募推薦・社会人・海外帰国子女入試	11 火		11 金	建国記念の日	11 金	
12 火		12 金		12 日		12 水	定期試験時間割発表	12 土	1.2.3年成績報告締切り	12 土	
13 水	(財)大学基準協会実地視察	13 土		13 月	後期試験計画票提出	13 木		13 日		13 日	
14 木		14 日	指定校推薦・一般公募推薦・卒業生子女入試	14 火		14 金	大学入試センター試験準備日(終日休講)	14 月		14 月	
15 金		15 月		15 水		15 土	大学入試センター試験	15 火		15 火	
16 土		16 火		16 木	試験問題提出締め切り	16 日	大学入試センター試験	16 水		16 水	
17 日		17 水		17 金		17 月		17 木		17 木	第6回卒業式
18 月		18 木		18 土		18 火		18 金	成績発表(卒業学年対象) 卒業 者発表	18 金	
19 火		19 金		19 日		19 水	後期授業終了	19 土		19 土	
20 水		20 土		20 月	授業終了	20 木	補講	20 日		20 日	
21 木		21 日	オープンキャンパス	21 火	集中講義	21 金	補講	21 月		21 月	春分の日
22 金		22 月		22 水	集中講義	22 土	補講	22 火		22 火	
23 土		23 火	勤労感謝の日	23 木	天皇誕生日	23 日		23 水	再試験願書締切	23 水	
24 日	父母懇談会(東京)	24 水		24 金	集中講義	24 月	補講	24 木	再試験日程発表	24 木	
25 月		25 木		25 土		25 火	定期試験	25 金		25 金	
26 火		26 金		26 日		26 水	定期試験	26 土		26 土	
27 水		27 土		27 月		27 木	定期試験	27 日		27 日	
28 木		28 日		28 火		28 金	定期試験	28 月	再試験	28 月	
29 金	淑徳祭準備日・休講	29 月		29 水		29 土				29 火	
30 土	淑徳祭・オープンキャンパス	30 火	インターンシップ報告会	30 木		30 日				30 水	
31 日	淑徳祭・オープンキャンパス			31 金		31 月	定期試験			31 木	

2004(平成16年)度 学年暦 大学院 国際経営・文化研究科〔後学期〕

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	金 休講(傘下高校入試)	1	月 敬老の日振替(休講)	1	水	1	土 元日	1	火	1	火
2	土 履修登録締切	2	火	2	木	2	日	2	水	2	水
3	日	3	水 文化の日	3	金	3	月	3	木	3	木
4	月	4	木	4	土 大学院入試	4	火	4	金	4	金
5	火	5	金	5	日	5	水	5	土	5	土 大学院入試
6	水	6	土 修論題目変更届提出(2年)	6	月	6	木	6	日	6	日
7	木	7	日	7	火	7	金 授業開始	7	月	7	月
8	金	8	月	8	水	8	土	8	火	8	火
9	土 休講 大学院入試	9	火	9	木	9	日	9	水	9	水
10	日	10	水	10	金	10	月 成人の日	10	木 修士論文最終試験(2年)	10	木 保存用修論提出(2年)
11	月 体育の日	11	木	11	土	11	火	11	金 建国記念の日	11	金
12	火	12	金	12	日	12	水	12	土	12	土
13	水	13	土	13	月	13	木	13	日	13	日
14	木	14	日	14	火	14	金 休講(大学入試センター試験準備日)	14	月	14	月
15	金	15	月	15	水	15	土 休講(大学入試センター試験)	15	火	15	火
16	土	16	火	16	木	16	日 大学入試センター試験	16	水	16	水 第4回学位記授与式
17	日	17	水	17	金	17	月	17	木	17	木
18	月	18	木	18	土	18	火	18	金	18	金
19	火	19	金	19	日	19	水 後期授業終了	19	土	19	土
20	水	20	土	20	月 授業終了	20	木 修士論文提出(2年)	20	日	20	日
21	木	21	日	21	火 集中講義	21	金	21	月	21	月 春分の日
22	金	22	月	22	水 集中講義	22	土	22	火	22	火
23	土	23	火 勤労感謝の日	23	木 天皇誕生日	23	日	23	水	23	水
24	日	24	水	24	金 集中講義	24	月	24	木	24	木
25	月	25	木	25	土 集中講義	25	火	25	金	25	金
26	火	26	金	26	日	26	水	26	土	26	土
27	水	27	土	27	月	27	木	27	日	27	日
28	木	28	日	28	火	28	金	28	月	28	月
29	金	29	月	29	水	29	土			29	火
30	土 淑徳祭(休講)	30	火	30	木	30	日			30	水
31	日 淑徳祭			31	金	31	月 修論計画届締切(1年)			31	木

Ⅱ 教育事業等

(1) 資格取得及び就職状況

1 千葉キャンパス

1. 国家資格等の取得状況

① 社会福祉士試験合格者数

平成 16 年度(第 17 回国家試験)の合格者数は 182 名(既卒者を含む)である。前回の平成 15 年度は 157 名であった。

② 精神保健福祉士試験合格者数

平成 16 年度卒業生(第 7 回国家試験)の合格者数は 11 名である。(当年度受験者数は 14 名)

③ 保育士資格登録者数

46 名

④ 教員採用試験合格者数

教職採用試験臨時採用(福島県 1 名)、教職採用試験特殊教育諸学校正規採用(千葉県 25 名(うち既卒者 22 名を含む))、特殊教育諸学校臨時採用(千葉県 4 名)、教員採用試験小学校正規採用(千葉県 3 名〔うち既卒者 3 名を含む〕)、東京都 1 名(うち既卒者 1 名を含む)

⑤ 公務員試験合格者数

一般行政職 3 名(横浜市 1 名、つくば市 1 名、千葉県芝山町 1 名)。保育士 6 名(京都市 2 名、千葉市 1 名、浦安市 1 名、船橋市 1 名、鎌ヶ谷市 1 名)。公務員福祉職 4 名(東京都江東区 1 名、千葉県 1 名、川崎市 1 名、静岡県 1 名)。警察官 3 名(警視庁 1 名、千葉県警 2 名)。消防官 1 名(成田市 1 名)

2) 就職状況

卒業生 757 名のうち就職希望者数は 601 名。就職内定者数は 550 名。卒業生総数に対する就職内定率は 72.7%。就職希望者数に対する就職内定率は 91.5%。「就職を希望しない学生」のうち、大学院進学・再受験 33 名、その他の進学 33 名、公務員再受験 37 名、「就職の意思なし・不明」は 53 名。

① 就職者のうち複数採用等の施設・病院等

(福) 東京栄和会、(福) 清和園、(福) 賛育会、(福) 市原福祉会、(福) 清峯会、(福) あしたば中野学園、(福) 一粒会、(福) 久美愛園、(福) 至誠学舎、(福) 愛光、(福) 喜泉、(福) ロザリオの聖母会、(福) 市川市社会福祉協議会、(福) 千葉市社会福祉事業団、(福) 滝郷学園、(福) 慶美会、(福) 武蔵野会、(福) 泰山木のある家、(福) 東京児童協会

② 就職者のうち複数採用等の主な企業等

(株) 三協精機製作所、キッコーマン(株)、(株) 永谷園、岡谷電機産業(株)、東亜電気工業(株)、清和海運(株)、(株) レオパレス 21、(株) 千葉銀行、(株) 京葉銀行、(株) 福島銀行、東京東信用金庫、ニッセイ同和損害保険(株)、大同生命保険(株)、青山商事(株)、(株) 大塚家具、(株) 日本トイザラス、千葉トヨペット(株)、(株) 銀座山形屋、日産プリンス千葉販売(株)、ブリジストンタイヤ東京販売(株)、ルイビ

トンジャパン(株)、(株)ヨドバシカメラ、(株)Naito、(株)山陽商会、カネボウ化粧品販売(株)、(株)たけうちグループ、東急観光(株)、(株)ジェイティービー、オリエンタルランド(株)、(財)法人空港事業保安センター、JA さいたま農業協同組合、デニーズジャパン(株)、マンパワージャパン(株)、(株)オール5、(株)コムスン、(株)やさしい手、(株)メディカジャパン 他

2)みずほ台キャンパス

1. 国家資格等の取得状況

①教員採用試験合格者数

教員採用試験臨時採用(長野県 1 名)

②その他の資格

資格名	合格者数(人)
国内旅行業務取扱主任者	17
一般旅行業務取扱主任者	9
販売士 2 級	9
カラーコーディネーター3 級	16
ビオトープ管理士	2
福祉住環境コーディネーター3 級	9

③公務員採用試験合格者数

自衛官 1 名、消防官 1 名(岡山県東備)

2) 就職状況

卒業生 536 名のうち就職希望者は 373 名。就職内定者は 340 名。卒業生総数に対する就職内定率は 63.4%。就職希望者数に対する就職内定率は 91.2%。「就職希望なし」のうち、大学院進学 7 名。その他の進学 41 名。公務員試験再受験・資格取得等 10 名。「就職の意思なし・不明」は 101 名。

1. 就職者のうちの複数採用等の主な企業 ※業種番号順

(株) エーアンドエーマテリアル、積水ハウス(株)、(株)伊藤園、井関農機(株)、(株)コマツ、シチズン時計(株)、(株)ノエビア、(株)エトワール海渡、(株)大塚商会、(株)ファミリーマート、(株)アオキインターナショナル、青山商事(株)、(株)ファーストリテイリング、(株)ヤマダ電機、スターバックスコーヒージャパン(株)、(株)ドトールコーヒー、ワタミフードサービス(株)、(株)ツツミ、(株)ベルーナ、(株)東京都民銀行、(株)レオパレス 21、(株)エイチ・アイ・エス、(株)ジェイティービー、ソフトバンク BB(株)、楽天(株)、セコム(株) 他

(2)「全学共通基礎教育プログラム」の導入

社会学部ならびに国際コミュニケーション学部の両学部に通ずる「全学共通基礎教育プログラム」を本年度よりスタートした。同プログラムは、社会学部、国際コミュニケーション学部ともに、新入生を対象にした修学基礎教育・導入教育の一部に位

置つけられる。

両学部共通の教育目標としては、「大学で学ぶことの意義や学び方」、「他者とのコミュニケーションの取り方」、「自己表現の方法」等である。ただ、両学部の学部としての性格を異にすること、また、学科の教育目標の面から教育内容の強調点に相違があるために以下のようなシラバスとなっている。

1) 社会学部のシラバス

学問の基礎 I	前期	2 単位	学科共通
----------------	----	------	------

【授業のねらい】

大学は自分の興味や関心を深く探求できるところです。しかし、そのためには探求する方法を知らなければなりません。この授業では、大学生活においてみなさんが知的な興味を満足させることができ、みなさん自身の世界を豊かに、かつ広げられるように、基礎的な探求方法や自己表現の方法について、実際に課題を行ったり、仲間と交流することを通して学びます。

【授業の体系】

- ・この授業は、大きく二つのユニットから成り、各ユニットが数週間にわたり展開します。
- ・二つのユニットはどちらを先に学ぶことも可能です。それは担当教員が決めます。
- ・ユニットの学習においては、教師の指導だけではなく、みなさんが小グループを形成し、できる限り協同で学ぶ形式をとります。
- ・リアクションペーパーに各自の意見などを書いてもらう場合もあります。
- ・各ユニットの期間は、授業日数の関係や教員の展開の仕方により、多少変動があります。
- ・ユニット A か B の中で、仲間との交流を促すために特別な活動が一回行われます。これは学生と教員で考えます。

ユニット A	スピーチや口頭表現による自己表現の仕方を学ぶ
ユニット B	レポート作成の仕方を学ぶ

【授業計画】

	テーマ	内容
1 回 (新入生セミナーでのグループディスカッション)	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・この授業の意義と進め方を理解する ・グループ作り ・グループ内での相互理解 「就きたい職業」をテーマに自由討論 等
2 回	時間割の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・履修計画を立て各自の時間割を作成する 「履修の手引き」「講義要覧」を参照に
3 回～8 回	ユニット A	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を印象深くみんなにアピールする ・本、雑誌等を読み、わかりやすく内容を紹介し、意見を述べる。 ・互いにスピーチを評価し合う テーマを設定してスピーチする 等
9 回～14 回	ユニット B	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的文章について理解する ・論理的文章の作法(構成、引用、注など)を学ぶ

		<ul style="list-style-type: none"> ・文献の調べ方を理解する ・短い文章を書いてみる ・互いに文章を公表してみる 等
15回	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの成長を自己評価、相互評価する ・「学問の基礎Ⅱ」の説明

注：内容の取り上げ方は教員の工夫により異なります。

【使用テキスト・教材】 適宜、プリントなどを配布します。

【成績評価の方法】

口頭発表・スピーチ (A) } 70%位
文章 (B)

授業への参加状況(出席・授業への取り組み) 30%位

*授業への取り組みに関しては、学生の自己評価や相互評価も参考にします。

*リアクションペーパーを評価の対象にするか否かは担当教員がオリエンテーションで述べます。

学問の基礎Ⅱ	後期	2単位	学科共通
--------	----	-----	------

【授業のねらい】

この授業では、「学問の基礎Ⅰ」で学んだ基礎的技術を実際に活用し、さらに発展させることにより、問題を探求するおもしろさを味わい、より主体的に学ぶ姿勢を身に付けます。

【授業の体系】

- ・この授業には二つの系列があり、どちらかの系列で授業が展開されます。
- ・どちらの系列も、基本的に学生が中心となって進めます。
- ・どちらの系列も、討論の後に各自の意見をリアクションペーパーに書いてもらいます。
- ・どちらの系列も、授業の成果として「報告書」あるいは「まとめの文書」を完成させます。
- ・どちらの系列で学ぶかは、前期でのみなさんの学習状況や教員の専門を考慮して、「学問の基礎Ⅰ」の最終授業日までに教員が選択します。

	研究活動
系列 A	テーマを設定して、研究調査を行い、報告書にまとめ、発表するという一連の活動を行います。そのことにより、調査の仕方や発表討論の仕方に習熟します。
	文献講読
系列 B	全員が順番で担当者となり、文献の内容について報告し、全員で議論・討論することを通して内容の理解を深めます。そのことにより、文献の読み方や発表・討論の仕方に習熟します。

【授業計画】

系列 A

	テーマ	内容
1回	時間割の作成	・履修計画を点検し各自の時間割を作成する

		「履修の手引き」「講義要覧」を参照する
2回	自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の適正を知り将来の展望を考える ・「進路興味適正検査」等を実施する
3回～13回	グループ(個人)での研究	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを設定する ・活動計画を作成する ・調査する ・報告書を作成する ・研究発表する ・討論する 等
14回	まとめ	・自分たちの成長を自己評価(相互評価) する

系列 B

	テーマ	内容
1回	時間割の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・履修計画を点検し各自の時間割を作成する 「履修の手引き」「講義要覧」を参照する
2回	自分を知る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の適正を知り将来の展望を考える ・「進路興味適正検査」等を実施する
3回～13回	文献講読と討論	<ul style="list-style-type: none"> ・分担による要旨の作成 ・内容についての報告と問題提起 ・内容について討論 ・「最終報告書」または「まとめの文書」の作成 等 ・研究発表する ・討論する 等
14回	まとめ	・自分たちの成長を自己評価(相互評価) する

注：具体的な授業展開は教員の工夫により異なります。

【使用テキスト・教材】

系列 A：教員によってはプリントを配ることがあります。

系列 B：「学問の基礎 I」の最終授業日までに教員が決めます。

【成績評価の方法】

報告の文書、発表
リアクションペーパー } 70%位

授業への参加状況(出席、授業への取り組み) 30%位

*授業への取り組みに関しては、学生の自己評価や相互評価も参考にします。

2) 国際コミュニケーション学部のシラバス

1. 人間環境学科

基礎演習 I	2 単位
---------------	-------------

この学部と学科の特徴を理解して、単位の取り方や履修計画、学習方法など、大学生活に必要な基礎知識を身につけることが第一の目標です。また、大学生活を通じて将来の目標を発見し、その目標を実現するためにはどうしたらよいのかを皆さんに考えてもらうこ

とも、重要な目標です。同時に、日本語の作文技術、ノートの作成方法、インターネットの情報検索技術など、大学の授業を受けるための基礎技術を修得するための授業でもあります。

- 授業計画**
- 第 1 回 1 年生の授業内容・カリキュラム・履修登録の説明
 - 第 2 回 キャンパス見学 1
 - 第 3 回 キャンパス見学 2 (どちらかに図書館の利用法説明を含む)
 - 第 4 回 自分と他人を紹介する 1 (話しを聞きながらメモを取ってみよう)
 - 第 5 回 自分と他人を紹介する 2 (メモをもとに自己・他者紹介をしてみよう)
 - 第 6 回 プロフィールを作成する 1 (メモを正式な文書にする)
 - 第 7 回 プロフィールを作成する 2 (お互いの文章を読んでみよう)
 - 第 8 回 { 授業について考える 1 (面白い授業とつまらない授業の違いは何か?)
授業について考える 2 (必要のない授業はあるのか?)
 - 第 9 回 授業について考える 3 (マナーはなぜ必要なのか?)
 - 第 10 回 授業について考える 4 (興味のある職業と授業の関係について考える?)
 - 第 11 回 自分は何が向いているのか? (意見を述べる)
 - 第 12 回 自分はどんなことがやってみたいのか? (意見を述べる)
 - 第 13 回 授業とやりたいことの間を整理する (履修計画をまとめる)

評価方法 出席と授業への積極的な参加・簡単なレポートなど

テキスト名 淑徳大学国際コミュニケーション学部編 「大学生活サバイバル術」(研成社)

2. 経営コミュニケーション学科

基礎演習 I 2 単位

この学部と学科の特徴を理解して、単位の取り方や履修計画、学習方法など、大学生活に必要な基礎知識を身につけることが第一の目標です。同時に、日本語の作文技術、ノートの作成方法、インターネットでの情報検索技術など、レポート作成などに必要な基礎技術を修得することも目標とします。また、様々な授業を通じて、大学 4 年間の学習計画や、その後の進路などについても考えてもらいます。

- 授業計画**
- 第 1 回 授業内容・カリキュラム・履修登録の説明
 - 第 2 回 キャンパス見学 1
 - 第 3 回 キャンパス見学 2 (どちらかに図書館の利用法説明を含む)
 - 第 4 回 日本語の作文技術 1—句読点をつける—
 - 第 5 回 日本語の作文技術 2—主語と述語を明確にする—
 - 第 6 回 ノートの作成方法 1—メモの取り方
 - 第 7 回 ノートの作成方法 2—資料とメモの整理
 - 第 8 回 インターネットによる情報検索 1—検索方法—
インターネットによる情報検索 2—テーマを決めて情報を探す—
 - 第 9 回 レポートの作り方 1—構成を明確にする—
 - 第 10 回 レポートの作り方 2—文章と図表を配置する—
 - 第 11 回 発表の方法 1—資料を作る—

第12回 発表の方法 2—プレゼンテーションを行う—

第13回 卒業後の進路を考える

評価方法 出席を重視するとともに、演習への参加態度（演習中の課題提出含む）を重視します。

テキスト名 淑徳大学国際コミュニケーション学部編 「大学生活サバイバル術」（研成社）
ガイダンスで配布

3. 文化コミュニケーション学科

基礎演習 I	2 単位
---------------	-------------

クラスのアドバイザー（教員）を通して、学部と学科の特徴を理解し、単位の修得や履修計画また学習方法などの指導を行います。さらに学習基礎教育のスキルプログラムと連動させ、本学科独自によるレポート或いはエッセイなどの文章作成上の指導を行います。各アドバイザーが選んだ課題図書を読み、レポートし、プレゼンや合評会などを経て、より完全なレポートに仕上げ、優秀な作品は表彰します。こうした過程を通して学ぶことの意味や自己発見につながればと願っています。

授業計画 第1回 履修指導課題図書の紹介

第2回 図書館利用法

第3回 資料収集法

第4回 レポート作成指導

第5回 合評会

第6回 レポート作成指導

第7回 レポート作成指導

第8回 プレゼン・ディスカッション

第9回 プレゼン・ディスカッション

第10回 レポートの提出

第11回 教員による添削

第12回 再提出

第13回 優秀作品の発表

評価方法 出席厳守・レポートで評価する。

テキスト名 淑徳大学国際コミュニケーション学部編 「大学生活サバイバル術」（研成社）
課題図書

同プログラムをより実効性あるものとするために、FD 組織・検証組織が各々の学部に設置されている。修学基礎教育科目の学習内容のモデル案、成績表、シラバスの恒常的検討、担当教員間の連絡調整等を行っている。また、具体的な教育効果の検証作業については、学生個人々の学習成果の到達度について自己評価方式によるアンケート調査を実施している。教員については、授業運営上の問題点等についての情報収集を図り、同プロジェクトと担当教員の会議において検討している。

国際コミュニケーション学部では、学部の「基礎教育チーム」が、修学基礎教育に必要なコンテンツのリストアップ、高校の教育内容との摺り合わせ、これらをもとに

した教育内容の検討にあたっている。また、教員については、授業運営上の問題点等についての情報の共有化を図り、学科会、教授会において報告・検討している。

(3) 平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」申請事業

申請テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ	
取組名称	地球共生人材教育のための実学学習支援体制	
申請担当者	所属部局	国際コミュニケーション学部
	責任者	境 忠宏 (学長特別補佐)
	作成者	葛西 信雄 (学習支援室員)
取組の概要	「学生に対する個別支援」のために、1) アドバイザー制度、2) 学習支援センター、3) GPA制度、を三位一体として機能させること、そして、「学習環境づくり」として、1) チャット・ルーム、2) 異文化体験プログラム、3) インターンシップ・プログラムなどの充実を図っている。	
審査結果	不採択	
不採択理由	目標の到達度について総合的な評価方法が確立されていないこと、そして、このような取り組みにおいては教員のFDが不可欠であると考えられるが、その点が欠けていることの点から、必ずしも成果を挙げているとは認められない。	

Ⅲ 研究活動

(1) 平成 16 年度日本学術振興会科学研究費補助金

1) 社会学部

研究代表者名	研究課題名
長谷川 匡俊	地域における社会福祉形成史の総合的研究
齋藤 順子	高齢者の QOL の向上を目指したケアマネジメント実践に向けての基礎研究
戸塚 法子	WEBによる福祉実践教育システムの構築と、それを利用した福祉実践教育法の試み
神 信人	リーダーへの権力委託による社会的ジレンマ解決の実証的研究
金沢 創	ヒトの表情の運動知覚に関する心理物理学的研究

2) 国際コミュニケーション学部

研究代表者名	研究課題名
上田 廣	地域社会における環境政策と福祉政策の融合に関する基礎研究－埼玉県三芳町の事例－
宮川 葉子	正親町町子作『松陰日記』の時代と公家と武家の文芸の接点の研究
吉良 直	アメリカの大学教育の改善とティーチング・アシスタント制度の研究
阿部 勘一	コミュニケーション論的アプローチによる消費者行動とマーケティングに関する研究
藤森 雄介	現代における仏教系社会福祉事業の実践状況と今後の方向性に関する研究

(2) 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金

1) 社会学部

研究代表者名	研究課題名
多々良 紀夫	高齢者虐待の早期発見及び早期発見システムに関する国際的研究

(3) 学位の取得

1) 千葉キャンパス

2001(平成 13) 年度

氏名等	取得日	授与大学	学位名	学位論文題目
千葉 浩彦 社会学部教授	2001 年 6 月 12 日	早稲田大学	博士 (文学)	解決志向行動療法－相談のエッセンスとその展開可能性－

2002(平成 14) 年度

川上 昌子 社会学部教授	2002 年 7 月 25 日	日本女子大学	博士 (学術)	80 年代都市高齢者の生活条件に関する実証研究
大橋 靖史 社会学部教授	2003 年 2 月 12 日	早稲田大学	博士 (文学)	心理学から見た想起と予期に関する考察－行為としての過去と未来－

2003(平成 15) 年度

長谷川 匡俊 社会学部教授	2004 年 3 月 8 日	大正大学	博士 (文学)	近世の念仏聖無能と民衆
榊潟 俊子 社会学部教授	2004 年 3 月 23 日	お茶の水女子大学	博士 (社会科学)	有機農業運動の展開と〈提携〉のネットワークの形成

2004(平成 16) 年度

木村 登紀子 社会学部教授	2005 年 3 月 10 日	東北大学	博士 (文学)	医療の現場における患者と家族の心理的研究
------------------	--------------------	------	------------	----------------------

(4) 教員の学術部門での表彰等

1) 千葉キャンパス

1. 平成 14 年度日本社会病理学会学術奨励賞
社会学部 講師 岩井 阿礼

- 2) みずほ台キャンパス
 1. 平成 16 年度情報化促進貢献個人表彰（総務大臣表彰）
国際コミュニケーション学部 教授 上田 廣
情報通信ソフト懇談会座長、モデル地区構想選定評価委員等の功績による。
 2. 平成 16 年度日本分析化学会技術功績賞
国際コミュニケーション学部 教授 北野 大
「化学物質の分析化学的安全性評価手法の開発と普及」による。

- (5) 学内にて開催された学会・学術大会等
 - 1) 千葉キャンパス
 - 平成 14 年度 1. 日本福祉教育・ボランティア学習学会（世話人 坂巻教授）
2. 淑徳大学社会福祉学会
 - 平成 15 年度 1. 子ども家庭福祉学会（世話人 柏女教授）
2. 淑徳大学社会福祉学会
 - 平成 16 年度 1. 司法福祉学会（世話人 小木曾助教授）
2. 淑徳大学社会福祉学会
 - 2) みずほ台キャンパス
 - 平成 14 年度 1. 淑徳大学国際コミュニケーション学会 第 4 回学術大会
 - 平成 15 年度 1. 日本経営会計学会 第 4 回全国大会
2. 淑徳大学国際コミュニケーション学会 第 5 回学術大会
 - 平成 16 年度 1. 日本広報学会 第 10 回発表大会 10 月 27 日(第一日目)
2. 淑徳大学国際コミュニケーション学会 第 6 回学術大会
 - 3) 池袋サテライト・キャンパス
 - 平成 16 年度 1. 日本広報学会 第 10 回発表大会 10 月 28 日(第二日目)
2. ビハーラ学会 (田宮 仁)

IV 社会貢献活動

(1) 千葉キャンパス

1) 社会福祉研究所 発達臨床研究センター

1. 臨床活動

昭和 40 年の淑徳大学開学とともに「淑徳大学児童相談所」として開設され、その後、「児童治療学級」、「カウンセリングセンター」、「淑徳大学社会福祉研究所相談治療研究室」を経て、平成 4 年より「発達臨床研究センター」と名称を変更し、現在に至っている。その間、一貫して発達障害幼児の治療教育活動を、「感覚と運動の高次化」の視点のもと行ってきた。

寝たきりの最重度の障害児から LD、ADHD といったボーダーラインの子どもたち

まで、障害の種別は問わず、毎年20～25名の子どもたちを受け入れており、総数は延べ700名を超えている。

スタッフは、臨床心理士及び臨床発達心理士により構成されている。

臨床方法は、独自に製作された2,000点を超える教材・教具を用いた個別課題活動と、3～8名の少人数で編成された音楽療法と認知・運動療法のグループ活動が行われている。いずれも一人ひとりの発達に応じてプログラムが組まれている。

2. 実習生の受け入れ

淑徳大学の社会福祉学科、心理学科の3年次生と4年次生を対象に、障害児初級臨床実習及び障害児上級臨床実習として、毎年50名程度の実習生を受け入れている。

1～2名の障害児を継続して担当し、個別課題学習や集団療法に参加している。また、大学院生についても、発達臨床実習として、毎年10名程度を受け入れており、より高度な実習を行っている。

3. 発達臨床研修セミナー

毎年8月の2日間、淑徳大学千葉キャンパスにおいて、招聘した講師による講演を中心に、事例研究発表、シンポジウムが内容として盛り込まれている。これまでに30回行われており、全国の養護学校教員や施設職員を中心に毎年500～600名が参加している。

2) 保育士セミナーの開催

本学では保育士養成教育の一層の充実を図るとともに、主に本学卒業の保育士に対するリカレント教育の一環として保育士セミナーを毎年行っている。平成16年度のセミナーは9月4日に本学千葉キャンパスで開催され、53名が参加している。

① 講演Ⅰテーマ：「よいおもちゃとはどんなもの」

講師：文京学院大学講師 永田 桂子 先生

おもちゃの語源、選び方の安全性、さらに子どもだけでなく、大人も喜べるものを取り入れる大切さなどについてご講演いただいた。

講演では実際のおもちゃを受講者が触れる機会もあり、分かりやすかったとの感想が多かった。また、「現場においてとても参考になり、実践につなげて行きたいです。」や、「現場に出て経験が長くなると改めてどんな玩具が子供たちにとってベストなものなのか考える機会が少なくなっていることに気がつきました。」との感想もあり、在学生だけでなく、現役保育士からも好評な講演となった。

② 講演Ⅱテーマ：「子どもが育つということ」

講師：群馬県立保育大学校講師 國吉 栄 先生

受講者へ「育つ」の意味の大切さを感じていただけた講演となった。

受講生からは「私ももう一度、保育を見つめ直し、日々の保育に役立てたい。」や「日々の課程が大切だという事を改めて感じました。」という感想が寄せられた。

V 学生の活動

(1) 千葉キャンパス

1) 学生大会

〔個人〕

1. 弓道部； 関東学生弓道選手権春季トーナメント大会 谷口 由佳 準優勝
千葉県学生弓道選手権大会 安武 朋美 準優勝

(2) みずほ台キャンパス

1) 世界大会等

〔個人〕

1. 女子柔道部； アジア選手権大会 中澤 さえ 優勝
世界ジュニア選手権大会 西田 優香 金メダル

2) 全日本大会等

〔個人〕

1. 女子柔道部； 全日本女子ジュニア柔道体重別選手権大会 52kg 以下級 西田 優香 優勝 ・同 70kg 以下級 國原 頼子 準優勝
2. バーンゴルフ部； 日本選手権 西貝 亜希子 準優勝
- 3) 学生大会

〔団体〕

1. 女子柔道部； 全日本学生柔道優勝大会 準優勝
関東学生女子柔道優勝大会 優勝
2. 女子ソフトボール部； 関東学生ソフトボール選手権大会準優勝
全日本大学女子ソフトボール選手権大会ベスト 8
3. 女子卓球部； 第 74 回全日本大学対抗卓球選手権大会優勝（同大会で女子初大会 5 連覇達成） ・秋季関東学生卓球リーグ優勝
4. チアリーダー部； グレータートウキョウフェスティバル 2004 第 2 回学生チアダンス大会大学部門 2 位
5. バドミントン部； 全日本学生バドミントン選手権大会ベスト 16

〔個人〕

1. 女子柔道部； 関東女子ジュニア柔道体重別選手権大会 52kg 以下級 米山 久美子 優勝 ・同 70kg 以下級 國原 頼子 優勝
日本学生女子柔道体重別選手権大会 78 以下級 中澤 さえ 準優勝

VI その他

(1) 池袋サテライト・キャンパスの開設

1) サテライト・キャンパスの主な事業内容等

1. 大学エクステンション活動の中心的事業

社会人教育のための公開講座、資格支援講座、公開シンポジウム開催等の大学の地域貢献活動（知的な大学開放事業）の推進

2. 大学の広報事業

大学等のマスメディア・看板広告、大学広報紙等の発行

3. 学生募集活動事業

大学の学校案内、入試情報、進学相談会など学生募集活動等の大学情報の発信

本学園の傘下学校などの案内、入試情報、進学相談会などのパンフレットの配布

4. 大学の総合企画・調整事業
5. 大学の自己点検・評価業務・第三者評価対応のための事業
6. 施設の開放事業

サテライト・キャンパスの教室・会議室・ラウンジ・PC コーナー等の施設・設備を学生の課外活動、就職活動、補助授業等、卒業生及び学園の教職員・学園の関係諸団体等の会議・会合・研究会・セミナー等への開放

これらの教育事業などを行うために平成 16 年 4 月に池袋サテライト・キャンパスが開設され、同時に「東京事務所」が設けられた。事務組織は学生募集センター（各キャンパスの千葉学生募集センター・みずほ台学生募集センター含む）・総合企画センター準備室・エクステンションセンター・第三者評価事務室により構成され、所長（大学事務局長兼務）、所長補佐の他、管理職 6 名（キャンパス 2 名以下同じ）、専任職員 7 名（2 名）、臨時・派遣職員 7 名（2 名）の体制を整えている。同年 4 月 19 日に本キャンパスで学園及び関係者による開所式が行われた。施設等の詳細は図 4【淑徳大学池袋サテライト・キャンパス】を参照。